

研究課題番号	1-2103
研究課題名	顕微ラマン光度計を用いた海洋マイクロプラスチックの連続計測システムの開発
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	東京海洋大学
研究代表者名	荒川 久幸

1. 委員の指摘及び提言概要

海洋におけるマイクロプラスチックの分布解明によるプラスチック対策につながる広域観測のための小型の計測機として、分粒装置の開発を含めて精度の高い連続計測装置開発に見込みが付き、非常に期待される手法が検討されており、大筋では所期の目標を概ね達成している。世界標準となる方法の開発を目指してほしい。様々な実際の場での継続的使用性を確認するとともに、有用な環境データの蓄積に期待する。システムのコスト次第で普及が可能ではないか。

他の定量評価法との比較を含め、他の研究テーマとの意見交換などの連携を期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A